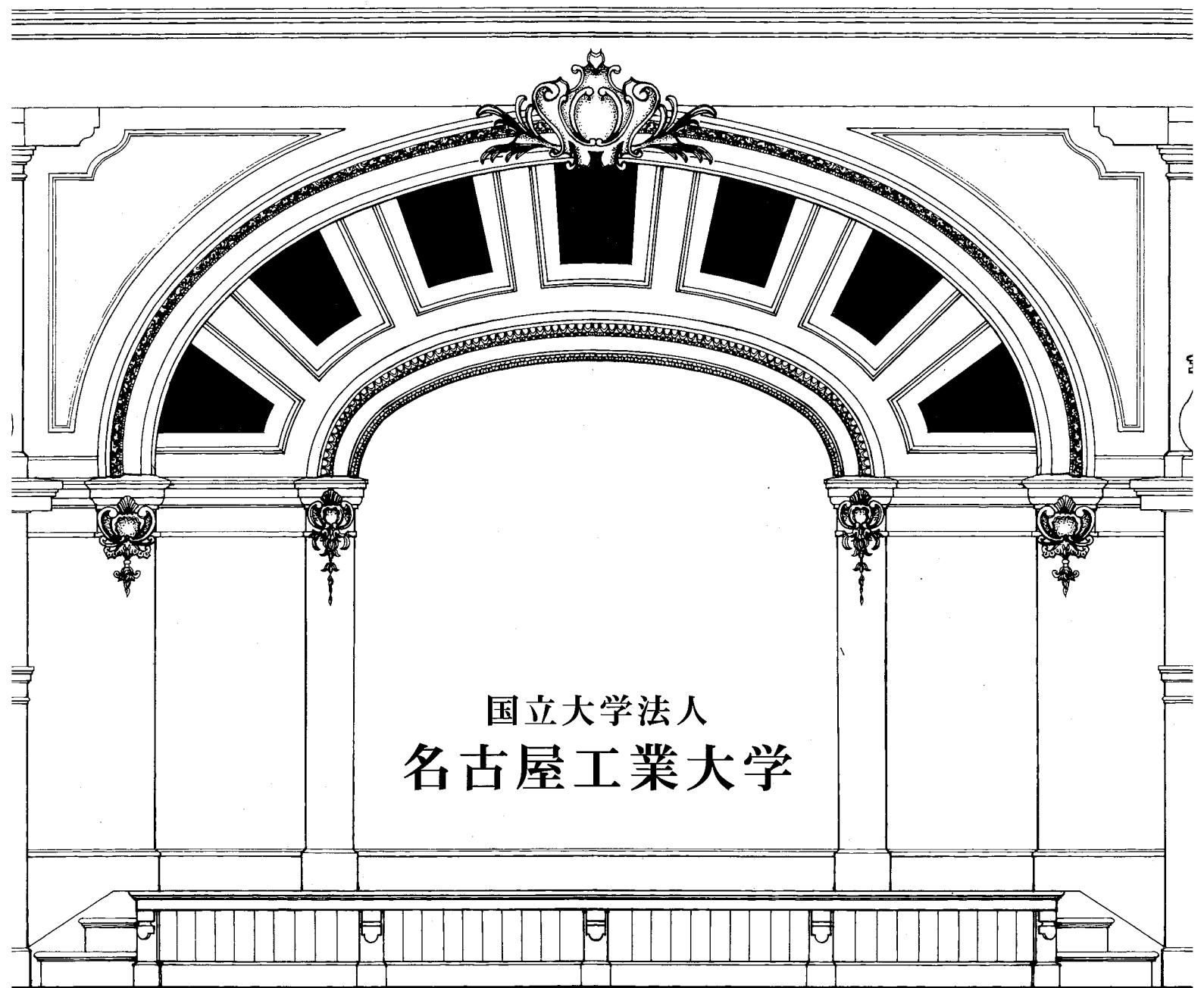


平成24年度
工学部第一部
私費外国人留学生特別入試
学生募集要項



国立大学法人
名古屋工業大学

目 次

平成24年度 工学部第一部私費外国人留学生特別入試学生募集要項

アドミッション・ポリシー	1
工学部第一部私費外国人留学生特別入試学生募集要項	2
1 募集学科及び募集人員	2
2 出願資格	2
3 出願手続	3
4 出願書類等	3
5 障害を有する入学志願者との事前相談	5
6 入学者選抜方法	5
7 合格者発表	5
8 入学手続等	5
9 問い合わせ先	6
学 科 紹 介	7
検定料の払込方法	8
本学への交通案内	裏表紙

この冊子には、次の書類が綴じ込んであります。

- | | | |
|---------|----------|----------|
| 1 入学願書等 | 2 検定料払込書 | 3 連絡用シール |
| 4 連絡用封筒 | 5 出願用封筒 | |
-

アドミッション・ポリシー

名古屋工業大学では、「ひとづくり」、「ものづくり」、「未来づくり」を教育・研究の理念・目標に掲げ、100年にわたる伝統の上に新たな風を吹き込む努力を続けており、倫理観に裏打ちされた人間性豊かな研究者・技術者を育成しています。そこで、次のような学生を広く国内外から受け入れています。

1. 工学や科学技術に幅広く強い関心を持ち、その学習に特に必要となる数学と理科の基礎学力をもつ人
2. 知的探究心が旺盛で、自ら新しい課題を見つけ挑戦し、ものやしくみを創造する意欲をもつ人
3. 将来は研究者・技術者として、自然との共生の上に人類の幸福に貢献する意欲をもつ人

工学部第一部私費外国人留学生特別入試学生募集要項

1 募集学科及び募集人員

工学部第一部（修業年限4年）の私費外国人留学生を、次のとおり募集します。

募集学科	募集人員
生命・物質工学科	若干名
環境材料工学科	若干名
機械工学科	若干名
電気電子工学科	若干名
情報工学科	若干名
建築・デザイン工学科	若干名
都市社会工学科	若干名

2 出願資格

次の（1）、（2）、（3）、（4）の全てを満たしている者

- (1) 日本国籍を有しない者
- (2) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格「留学」を有する者又は取得できる見込みの者で、次の各号のいずれかに該当する者
なお、出願時に「留学」の在留資格を有せず見込みで出願した者は、入学手続後すみやかに「留学」の在留資格に切り替えてください。「留学」の在留資格を取得しない場合、入学を取り消します。
 - ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又は平成24年3月31日までに修了見込みの者
 - ② 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。次号において同じ。)に合格した者で、平成24年3月31日までに18歳に達する者
 - ③ 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、わが国の大学に入学するための準備教育を行う施設において当該課程を修了した者又は平成24年3月31日までに修了見込みの者で平成24年3月31日までに18歳に達する者
 - ④ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成24年3月31日までに18歳に達する者
 - ⑤ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成24年3月31日までに18歳に達する者
 - ⑥ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成24年3月31日までに18歳に達する者
- (3) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成23年度日本留学試験において、日本語の「聴解」・「聴読解」・「読解」の合計得点が200点以上及び基礎学力(理系)の「理科2科目」・「数学(コース2必須)」の合計得点が200点以上の者

なお、基礎学力（理系）の「理科2科目」については、志望学科により、次の表に示す科目を受験していること。

※理科の受験科目について	
志 望 学 科	受 験 科 目
生命・物質工学科	物理，化学，生物から2科目選択
環境材料工学科 機械工学科 電気電子工学科 情報工学科 建築・デザイン工学科 都市社会工学科	物理，化学の2科目必須

(4) 「TOEFL」又は「TOEIC」を受験した者

※「日本留学試験」についての照会は、下記に問い合わせてください。

独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課

〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29

電 話 03 (6407) 7457

注：日本国籍を有しない者であっても学校教育法の定める高等学校又は中等教育学校を卒業した者は、一般の入学志願者と同じ扱いとなり、この特別入試には出願できません。

3 出願手続

(1) 出願期間

平成24年1月6日（金）から1月11日（水）まで

(2) 出願方法

入学志願者は、出願書類等を取りそろえ、本学所定の封筒を用い、書留速達で1月11日（水）までに到着するよう郵送してください。

なお、1月11日までの消印のあるものは受け付けます。

また、海外から出願する場合は、入試室へ問い合わせください。

4 出願書類等

(1) 入 学 願 書（本学所定の用紙）

(2) 写 真 票・受 験 票（本学所定の用紙）

上半身、無帽、正面向きのもので、出願前3か月以内に撮影した同一の写真2枚（縦4cm、横3cm）を写真票及び受験票の所定欄に貼り付けてください。

(3) 成 績 証 明 書

高等学校に対応する学校の出身学校長が発行したもの。

(4) 日本留学試験の成績通知書の写し

平成23年度日本留学試験の成績通知書の写しを1部提出してください。

(平成23年6月及び11月に実施された日本留学試験の両方を受験した者は、いずれか高得点の成績通知書を提出することができます。)

(5) 「TOEFL」又は「TOEIC」の成績を証明する書類

① TOEFL

公式スコア (Official Score Report) 又は受験生用スコア (Examinee's Score Record) のいずれかを提出してください。

1) ETS (Educational Testing Service) に対し、公式スコア (Official Score Report) を出願締切日までに本学に到着するよう (a) 又は (b) の方法で手続きをしてください。

(a) TOEFL 試験当日に解答用紙等に本学コードを記入する方法 (無料)

(b) TOEFL 試験日以降にETSに直接申請する方法 (有料)

なお、本学の指定校コードは「8549」です。

公式スコアは本学到着までに2か月程度の期間を要する場合がありますので、余裕をもって申請してください。出願期間内に未着の場合は書類不備となります。

2) 受験生用スコア (Examinee's Score Record) (コピーは不可) を提出してください。

なお、提出された Examinee's Score Record は、受験票に同封して返却します。

② TOEIC

TOEIC 運営委員会が発行した公式認定証 (コピーは不可) を提出してください。(Official Score Certificate)

なお、提出されたTOEIC公式認定証は、受験票に同封して返却します。

(6) 卒業 (見込) 証明書

高等学校に対応する学校の出身学校長が発行したもの。

(7) 登録原票記載事項証明書 (在留者のみ)

市区町村長が交付する登録原票記載事項証明書 (在留資格及び在留期間が記載されたもの) を提出してください。

(8) 入学検定料 17,000円

検定料は、8ページの「検定料の払込方法」を参照の上、ゆうちょ銀行・郵便局の窓口で払い込んでください。

(9) 連絡用封筒 (本学所定の封筒)

受取人の郵便番号、住所及び氏名を記入し、360円分の郵便切手を貼ってください。

(10) 連絡用シール (本学所定の用紙)

入学願書に記載する「受信場所」と同一の住所を記入してください。

注意事項

ア 受験票及び試験場案内は、平成24年1月17日 (火) に、連絡用封筒で郵送します。

イ 出願書類等の不備なものは、受理しません。

ウ 出願書類の受理後は、出願事項の変更を認めません。

エ 提出された出願書類等は、返還しません。

オ 既納の検定料は、返還しません。

カ 出願書類に虚偽の記載をしたことが判明した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。

キ 入学者については、入学者選抜に用いた個人情報や学籍などの教務関係及び学生支援関係に関する業務を行うため利用します。

5 障害を有する入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）がある者は、修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願の前に、本学に相談してください。

(1) 相談の時期及び方法

平成23年12月1日（木）までに相談する内容を文書、電話、FAX、Eメールのいずれかで連絡してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

(2) 連絡先

6ページの「9 問い合わせ先」を参照してください。

6 入学者選抜方法

入学者の選抜は、成績証明書、日本留学試験の成績、「TOEFL」又は「TOEIC」の成績及び面接（口頭試問を含む。）を総合して判定します。

面接（口頭試問を含む。）

平成24年2月1日（水）に本学において実施します。

場所等は、志望学科等により異なります。詳細は、受験票送付の際に通知します（電話による問い合わせには応じません。）。

7 合格者発表

平成24年2月8日（水）15：00、本学2号館前に合格者の受験番号を掲示します。（電話による問い合わせには一切応じません。）

なお、合格者には、合格通知書及び入学手続書類を郵送します。

8 入学手続等

合格者（又は代理人）は、次の日時に入学手続を行ってください。

所定の期日までに入学手続を行わない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。

なお、合格通知に同封の「入学手続要項」に基づき郵送による入学手続もできます。

(1) 入学手続日時

平成24年3月15日(木)

9：00～16：00

(2) 入学手続場所

名古屋工業大学

(3) 手続書類等

- ① 合格通知書, 受験票
- ② 入学手続関係書類 (合格通知書に同封した書類)
- ③ 入学料 282,000円 (予定額)
- ④ 授業料 年額 535,800円 (予定額)

{	前期分	267,900円
	後期分	267,900円

注意事項

ア 入学料及び授業料については、入学時及び在学中に改定が行われた場合には、新入学料及び新授業料が適用されます。

イ 授業料は、希望により前期分を納入の際に後期分も併せて納入できる制度があります。

ウ 授業料 (前期分) を入学手続時に納入しない場合は、平成24年4月2日 (月) から4月27日 (金) までに納入してください。

エ 既納の入学料及び授業料は返還しません。ただし、授業料については、入学手続完了者が平成24年3月31日 (土) までに入学を辞退した場合には、納入した者の申出により当該授業料相当額は後日返還します。

オ 入学料及び授業料については、徴収猶予又は免除の制度があります。

経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者及び入学前1年以内に学資負担者が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる者には、選考の上、授業料の全額又は半額を免除する制度があります。

9 問い合わせ先

この学生募集要項に関する照会は、郵便又は電話等で行ってください。郵便で照会を行うときは、郵便番号、住所及び氏名を明記し、郵便切手を貼った返信用封筒を同封してください。

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町^{ごきそちよう}
名古屋工業大学 入試室
電 話 052 (735) 5083
F A X 052 (735) 5084
Eメール nit.nyushi@adm.nitech.ac.jp

学 科 紹 介

I 生命・物質工学科

生物生命系、生体材料系、物質化学系の3つの教育プログラムのもとで、生命機能発現の機構解明とこれに基づく新たな知的材料発想に加え、生命を支援する材料、環境にやさしい機能・構造材料の創製や情報およびエネルギー循環に関わる材料設計などの教育を行い、生命・物質に関わる産業発展において中核を担う人材を育成します。

II 環境材料工学科

材料工学は、環境と調和した“ものづくり”におけるキーテクノロジーです。セラミック系及び材料機能系の2つの教育プログラムの下で、物理と化学を統合した材料科学の視点から、材料の構造や機能について幅広く学び、材料の設計と開発に関する基礎を修得します。

III 機械工学科

地球環境と調和がとれた“人にやさしい機械づくり”を目指します。計測系、機構系、エネルギー系の3つの教育プログラムの下で、物事を精密に測るための科学と技術を学び、必要な作用を正しく行わせる機械を考案し、それを動かすためのエネルギーを効率よくかつ適切に利用するための基礎知識と技術を兼ね備えた技術者を養成します。

IV 電気電子工学科

高度に集積されたエレクトロニクス技術、要素技術をインテグレーションするためのデザイン技術、高速・高信頼の情報伝送を実現するエレクトロニクス技術を中心に、機能電子系、エネルギーデザイン系、通信系の3つの教育プログラムの下で、電気・電子・通信の基礎知識と専門応用へと展開できる技術などを理論と実験・演習により修得します。

V 情報工学科

ネットワーク系、知能系、メディア系の3つの教育プログラムの下で、現代社会を支える情報分野の基礎技術を学びます。より高度な将来の情報化社会の実現に不可欠な情報ネットワーク技術、知能情報技術、メディア情報技術などを理論と演習により修得します。

VI 建築・デザイン工学科

建築系及びデザイン系の2つの教育プログラムの下で、より良い社会の実現に向けて、人間活動の創造的所産を創出するための計画と方法を学びます。具体的には、意匠・計画・材料・構造・環境といった工学の基本としての知識・技術の習得を基礎としつつ、建築・家具・プロダクトデザイン・情報技術などの創造力を養成します。

VII 都市社会工学科

環境都市系及び経営システム系の2つの教育プログラムの下で、都市と社会を構成する仕組みを企画、設計、建設、維持、管理、評価、改善するための技術と手法を学びます。都市と社会及び産業に関わる諸問題を解決できるソリューションニストの養成を目指します。